

7 補装具費の支給・日常生活用具の給付等

補装具費（購入、借受け又は修理）の支給 ⑤⑥

〔対象者〕

身体障害者手帳をもっている人や子ども又は以下の①②の要件全てに該当する人や子ども

- ①障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律施行令第1条の対象疾患患者（376疾患）（29頁～32頁）
- ②在宅で療養が可能な程度に病状が安定していると医師によって診断される人や子ども

〔内容〕

障害を補うために必要と認められた補装具の購入、借受け又は修理に係る費用を支給します。補装具の購入、借受け又は修理には事前に申請が必要です。利用者負担については、所得に応じて負担上限月額が設定されます。なお、一定所得以上の場合は支給対象外となります。

※「補装具」・・・障害のある人等の身体機能を補完し、又は代替し、かつ長期間にわたり継続して使用されるもの等。

〔利用者負担〕

所得に応じて負担上限月額が設定されます。ただし、18歳以上の障害のある人の世帯のうち、一定所得（市民税所得割額46万円）以上の場合は支給対象外となります。また、障害福祉サービス等を利用した月は補装具の負担上限月額が適用されます。

〔窓口〕

各区役所 高齢者・障害者相談コーナー（7頁）

補装具費の支給を受けられる人	種 目
視覚障害のある人や視覚障害のある子ども	視覚障害者安全つえ
	義眼
	眼鏡
聴覚障害のある人や聴覚障害のある子ども	補聴器
	人工内耳（修理のみ）
肢体不自由のある人や肢体不自由のある子ども	義肢
	装具
	車椅子
	電動車椅子
	歩行器
	姿勢保持装置
	車載用姿勢保持装置
肢体不自由のある子ども	歩行補助つえ（1本つえを除く）
	起立保持具
音声・言語機能障害と肢体不自由が重複している人や音声・言語機能障害と肢体不自由が重複している子ども	排便補助具
	重度障害者用意思伝達装置
障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律施行令第1条の対象疾患患者（376疾患）	上記の補装具について、申請書等に基づき、個別に支給の判断を行う。

※介護保険が優先的に適用される種目

- ①車椅子（電動車椅子を含む） ②歩行器 ③歩行補助つえ
- ①②③とも、介護保険が適用される標準的な既製品の場合に限ります。

日常生活用具の給付等 ㊦㊧㊨㊩

〔対象者〕

在宅で生活する障害のある人及び障害のある子ども

〔内容〕

日常生活の便宜をはかるため、次の用具を給付しています。

日常生活用具の給付には事前に申請が必要です。一部の用具は介護保険制度が優先的に適用されます。

〔利用者負担〕

所得に応じて負担上限月額が設定されます。ただし、一定所得（市民税所得割額46万円）以上の場合には給付対象外となります。なお、点字図書については一般図書の購入価格相当額を負担していただきます。

〔窓口〕

各区役所 高齢者・障害者相談コーナー（7頁）

障害者手帳所持者及び難病患者等の日常生活用具の給付品目

種目	品目	対象者	公費負担上限額	耐用年数
介護・訓練支援用具	特殊寝台	①下肢又は体幹機能障害2級以上 ②寝たきりの状態にある難病患者等 ※①②原則6歳以上	160,000円	8年
	特殊マット	①下肢又は体幹機能障害2級以上 （常時介護を要する人に限る。） ②療育手帳A ③寝たきりの状態にある難病患者等 ※①②③原則3歳以上	20,000円	5年
	エアークッション	①下肢又は体幹機能障害2級以上 ②寝たきりの状態にある難病患者等 ※①②原則6歳以上	120,000円	5年
	特殊尿器	①下肢又は体幹機能障害1級 （常時介護を要する人に限る。） ②自力で排尿できない難病患者等 ※①②原則6歳以上	67,000円	5年
	入浴担架	下肢又は体幹機能障害2級以上 （原則3歳以上で入浴時に家族等他人の介助を要する人に限る。）	82,400円	5年
	体位変換器	①下肢又は体幹機能障害2級以上 （下着交換等に当たって家族等他人の介助を要する人に限る。） ②寝たきりの状態にある難病患者等 ※①②原則6歳以上	15,000円	5年
	移動用リフト	①下肢又は体幹機能障害2級以上 ②下肢又は体幹機能に障害のある難病患者等 ※①②原則3歳以上	200,000円 +（つり具39,000円まで）	8年 (4年)
自立生活支援用具	入浴補助用具 （※）	①下肢又は体幹機能障害があり、入浴に介助を必要とする人 ②入浴に介助を必要とする難病患者等 ※①②原則3歳以上	90,000円	8年
	便器	①下肢又は体幹機能障害2級以上 ②常時介護を要する難病患者等 ※①②原則6歳以上	15,200円	8年
	頭部保護帽 （※オーダーメイドのみ）	①平衡機能又は下肢もしくは体幹機能障害があり、転倒等により頭部を強打する恐れがある人 ②療育手帳Aで、てんかんの発作等により頻繁に転倒する人	レディメイド オーダーメイド 13,000円 37,900円	3年

種目	品目	対象者	公費負担上限額	耐用年数
自立生活支援用具	つえ（T字状・棒状）	①平衡機能又は下肢もしくは体幹機能障害があり、歩行機能の補完のために必要と認められる人 ②下肢又は体幹機能に障害のある難病患者等	3,200円	3年
	移動・移乗支援用具	①平衡機能又は下肢もしくは体幹機能障害があり、家庭内の移動等において介助を必要とする人 ②下肢が不自由な難病患者等 ※①②原則3歳以上	60,000円	8年
	特殊便器	①上肢障害2級以上 ②療育手帳A ③上肢機能に障害のある難病患者等 ※①②③原則6歳以上	109,800円	8年
	火災警報器	①身体障害者障害程度等級2級以上（火災発生の感知及び避難が著しく困難な障害のある人のみの世帯及びこれに準ずる世帯） ②療育手帳A（火災発生の感知及び避難が著しく困難な障害のある人のみの世帯及びこれに準ずる世帯）	7,700円	10年
	自動消火器	①身体障害者障害程度等級2級以上（火災発生の感知及び避難が著しく困難な障害のある人のみの世帯及びこれに準ずる世帯） ②療育手帳A（火災発生の感知及び避難が著しく困難な障害のある人のみの世帯及びこれに準ずる世帯） ③火災発生の感知及び避難が著しく困難な難病患者等のみの世帯及びこれに準ずる世帯	21,800円	5年
	電磁調理器	①視覚障害2級以上 ②療育手帳A ※①②18歳以上	13,400円	6年
	歩行時間延長信号機用小型送信機	視覚障害2級以上（原則6歳以上）	10,800円	10年
	聴覚障害者用目覚時計	聴覚障害2級以上（18歳以上）	12,000円	10年
	聴覚障害者用屋内信号灯	聴覚障害2級以上（18歳以上）	16,100円	10年
聴覚障害者用屋内信号装置	聴覚障害2級以上（18歳以上）	82,400円	10年	
在宅療養等支援用具	透析液加温器	腎臓機能障害3級以上で自己連続携行式腹膜灌流法（CAPD）による透析療法を行う人（原則3歳以上）	51,500円	5年
	ネブライザー（吸入器）（※）	①呼吸器機能障害3級以上又は同程度の身体障害があり、必要と認められる人 ②呼吸器機能に障害のある難病患者等 ※①②原則6歳以上	36,000円	5年
	電気式たん吸引器（※）	①呼吸器機能障害3級以上又は同程度の身体障害があり、必要と認められる人 ②呼吸器機能に障害のある難病患者等 ※①②原則6歳以上	56,400円	5年
	酸素ポンプ運搬車	呼吸器機能障害4級以上で医療保険における在宅酸素療法を行う人（18歳以上）	17,000円	10年
	視覚障害者用体温計	視覚障害2級以上（原則6歳以上）	8,000円	5年
	視覚障害者用体重計	視覚障害2級以上（18歳以上）	11,500円	5年

種目	品目	対象者	公費負担上限額	耐用年数	
在宅療養 支援用具等	動脈血中酸素飽和度測定器(パルスオキシメーター)(※)	①呼吸器機能障害3級以上で、在宅酸素療法を必要とする人又は人工呼吸器を装着している人 ②人工呼吸器を装着している難病患者等	36,000円	5年	
	携帯用会話補助装置	音声機能もしくは言語機能障害又は肢体不自由があり、発声・発語に著しい障害を有する人(原則6歳以上)	98,800円	5年	
情報・意思疎通 支援用具	情報・通信支援用具	視覚障害又は上肢障害2級以上(原則として現に情報・通信機器を所有していること)(原則6歳以上)	100,000円	5年	
	点字ディスプレイ	視覚障害2級以上で、本装置により文字等のコンピューターの画面情報を得ることが可能になる人(18歳以上)	300,000円	6年	
	点字器	視覚障害2級以上(原則6歳以上)	11,000円	7年	
	点字タイプライター	視覚障害2級以上(本人が就労もしくは就学しているか又は就労が見込まれる人に限る)	69,000円	5年	
	視覚障害者用ポータブルレコーダー	視覚障害2級以上(原則6歳以上)	録音再生機 80,000円 再生専用機 45,000円	6年	
	視覚障害者用活字文書読上げ装置	視覚障害2級以上(原則6歳以上)	94,800円	6年	
	視覚障害者用読書器	視覚障害があり、本装置により文字等を読むことが可能になる人(原則6歳以上)	193,000円	8年	
	視覚障害者用時計	視覚障害2級以上(18歳以上)	13,700円	7年	
	聴覚障害者用通信装置	聴覚障害又は発声・発語に著しい障害があり、コミュニケーション、緊急連絡等の手段のために必要と認められる人	FAX 24,600円	5年	
	聴覚障害者用情報受信装置	聴覚障害があり、本装置によりテレビの視聴が可能になる人	83,900円	6年	
	人工喉頭	音声・言語機能障害がある喉頭摘出者	笛式 笛式(カニューレ付)	5,200円 8,400円	4年
			電気式	72,300円	5年
	点字図書	視覚障害があり、主に情報の入手を点字によっている人(原則6歳以上)	年間6タイトル又は24巻		
難聴児用補聴器(※)	①市内に居住し、新生児聴覚検査で聴覚障害が発見された児童で、身体障害者手帳(聴覚障害)の対象とならない児童 ②身体障害者福祉法第15条第1項に基づく指定医(聴覚障害)からの意見書によって補聴器の装着が必要と認められる児童 ③両耳の聴力レベルがそれぞれ30デシベル以上の児童	高度難聴用耳掛け型補聴器 (片耳) 43,900円 (両耳) 87,800円 骨導式補聴器 87,800円 +イヤモールド (片耳) 9,000円 (両耳) 18,000円	5年		

種目	品目	対象者	公費負担上限額	耐用年数
排泄管理支援用具	ストーマ装具	ぼうこう機能障害又は直腸機能障害のためストーマを造設した人	蓄便袋 8,900円 蓄尿袋 11,700円 蓄便・蓄尿袋 20,600円	1月
	紙おむつ(※)	①高度の排尿・排便機能障害がある人で、ストーマ装具で対応できない人 ②3歳未満に最重度の身体障害(寝たきり・意思表示不可・座位保持不可・介助による排泄ができない)となった人で、他の排尿・排便の方法がとれない人(3歳以上)	11,000円	1月
	洗腸用具(※)	直腸機能障害のためストーマを造設した人で、蓄便袋及び紙おむつの使用が困難で当該用具を必要とする人	12,000円	6月
	収尿器	高度の排尿機能障害があり、必要と認められる人	8,500円	1年
居宅生活動作補助用具	住宅改造助成	①下肢、体幹機能障害又は乳幼児期以前の非進行性の脳病変による運動機能障害(移動機能障害に限る)を有する3級以上の人(ただし、特殊便器を設置する場合は上肢障害2級以上の人) ②下肢又は体幹機能に障害のある難病患者等 ③肢体不自由を除く身体障害2級以上 ④療育手帳A ⑤精神障害者手帳1級	200,000円	1回限り

(※)のついている品目は医師意見書が必要な場合があります。

※介護保険対象者には給付または助成できない用具

- ①便器 ②体位変換器 ③特殊便器(住宅改造で設置した場合のみ) ④特殊マット ⑤特殊寝台
⑥特殊尿器 ⑦入浴補助用具 ⑧移動・移乗支援用具 ⑨移動用リフト ⑩エアーマット
⑪住宅改造助成(自立と認定された方でも給付できる場合があります)

※令和7年度において、日常生活用具の給付品目等の見直しを予定しています。
改定後の内容は北九州市ホームページでお知らせします。

小児慢性特定疾病児童等日常生活用具給付事業 児

小児慢性特定疾病医療費助成の医療受給者証をお持ちの在宅のお子さんに対し、車いすや特殊ベッド等の日常生活用具を給付することにより、日常生活の便宜を図ることを目的に実施するものです。

小児慢性特定疾病医療費対象疾病（対象疾患群）

悪性新生物、慢性腎疾患、慢性呼吸器疾患、慢性心疾患、内分泌疾患、膠原病、糖尿病、先天性代謝異常、血液疾患、免疫疾患、神経・筋疾患、慢性消化器疾患、染色体又は遺伝子に変化を伴う症候群、皮膚疾患群、骨系統疾患、脈管系疾患

〔対象者〕以下のすべてに該当する方

- 1 北九州市内に住所を有する方
- 2 小児慢性特定疾病医療受給者証をお持ちの方
- 3 児童福祉法（小児慢性特定疾病医療費助成を除く）、障害者総合支援法の対象とならない方（身体障害者手帳、療育手帳をお持ちの方等は、障害福祉制度が優先します。）
- 4 日常生活を営むのに著しく支障がある在宅の方で、日常生活用具の給付を必要とする方

〔申請手続き〕

*必ず事前にご相談ください。申請前の購入は公費補助の対象となりません。

お子さんの住所地の区役所保健福祉課子ども・家庭相談係に下記の書類を提出してください。

- (1) 日常生活用具給付申請書（区役所にあります）
- (2) 小児慢性特定疾病医療受給者証の写し

〔保護者の一部負担について〕

世帯の収入状況により用具の給付に要する費用の一部を負担していただきます。また「給付の対象となる品目等」の基準額を超える費用についても自己負担となります。

〔その他〕

用具の耐用年数を経過するまでの間は、原則として再給付を受けることはできません。

〔窓口〕

各区役所 保健福祉課 子ども・家庭相談係（122頁）

小児慢性特定疾病児童等日常生活用具給付事業対象種目等

種 目	対 象 者	性 能	基準額 (耐用年数)
便器	常時介助を要する者	小児慢性特定疾病児童等が容易に使用し得るもの。 (手すりをつけることができる)	4,900円 (8年)
特殊マット	寝たきりの状態にある者	褥瘡の防止又は失禁等による汚染又は損耗を防止できる機能を有するもの。	21,560円 (5年)
特殊便器	上肢機能に障害のある者	足踏ペダルにて温水温風を出し得るもの。ただし、取替えに当たり住宅改修を伴うものを除く。	166,320円 (8年)
特殊寝台	寝たきりの状態にある者	腕、脚等の訓練のできる器具を付帯し、原則として使用者の頭部及び脚部の傾斜角度を個別に調整できる機能を有するもの。	169,400円 (8年)

種 目	対 象 者	性 能	基準額 (耐用年数)
歩行支援用具	下肢が不自由な者	おおむね次のような性能を有する手すり、スロープ、歩行器等であること。 ①小児慢性特定疾病児童等の身体機能の状態を十分踏まえたものであって、必要な強度と安定性を有するもの。 ②転倒予防、立ち上がり動作の補助、移乗動作の補助、段差解消等の用具となるもの。	66,000円 (8年)
入浴補助用具	入浴に介助を要する者	入浴時の移動、座位の保持、浴槽への入水等を補助でき、小児慢性特定疾病児童等または介助者が容易に使用し得るもの。	99,000円 (8年)
特殊尿器	自力で排尿できない者	尿が自動的に吸引されるもので小児慢性特定疾病児童等又は介助者が容易に使用し得るもの。	73,700円 (5年)
体位変換器	寝たきりの状態にある者	介助者が小児慢性特定疾病児童等の体位を変換させるのに容易に使用し得るもの。	16,500円 (5年)
車いす	下肢が不自由な者	小児慢性特定疾病児童等の身体機能を十分踏まえたものであって、必要な強度と安定性を有するもの。	77,440円 (5年)
頭部保護帽	発作等により頻繁に転倒する者	転倒の衝撃から頭部を保護できるもの。	13,380円 (3年)
電気式たん吸引器	呼吸器機能に障害のある者	小児慢性特定疾病児童等又は介助者が容易に使用し得るもの。	62,040円 (5年)
クールベスト	体温調節が著しく難しい者	疾病の症状に合わせて体温調節ができるもの。	22,000円 (1年)
紫外線カットクリーム	紫外線に対する防御機能が著しく欠けて、がんや神経障害を起こすことがある者	紫外線をカットできるもの。	41,580円 1年度に1回 基準額までの 給付とする。
ネブライザー(吸入器)	呼吸器機能に障害のある者	小児慢性特定疾病児童等又は介助者が容易に使用し得るもの。	39,600円 (5年)
パルスオキシメーター	人工呼吸器の装着が必要な者	呼吸状態を継続的にモニタリングすることが可能な機能を有し、介助者等が容易に使用し得るもの。	173,250円 (5年)
ストーマ装具(蓄便袋)	人工肛門を造設した者	小児慢性特定疾病児童等又は介助者が容易に使用し得るもの。	113,520円 1年度に1回 基準額までの 給付とする。
ストーマ装具(蓄尿袋)	人工膀胱を造設した者	小児慢性特定疾病児童等又は介助者が容易に使用し得るもの。	149,160円 1年度に1回 基準額までの 給付とする。
人工鼻	人工呼吸器の装着又は気管切開が必要な者	小児慢性特定疾病児童等又は介助者が容易に使用し得るもの。	128,700円 1年度に1回 基準額までの 給付とする。